

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局

大阪市中央区道修町3-3-10

日宝道修町ビル3F

06-6232-1095



大阪損保革新懇は、5月末に「大阪損保革新懇ニュース 2016年夏特集号」を発行し、会員のみなさんにお送りしました。合わせて、広く活用を呼びかけたところ、全国のみなさんから、学習会で使いたいので20部送ってほしい、職場の仲間に読んでもらいたい、すぐ届けてほしい、などの要請がたくさん寄せられています。

このニュースでは、第一に、今回の参議院選挙の争点を、「保守か革新か」ではなく「立憲主義を守るかどうか」という国のありかたが問われるものと位置付けています。今の憲法すら守らない政権が、憲法をも「改正」したとしても、その「改正」した憲法を守る保証はどこにもありません。これでは国の土台が壊れてしまいます。暴走政治をストップさせ、まともな政治を取り戻す選挙なのです。

安倍政権は、選挙の争点から憲法「改正」を意図的に隠し、「アベノミクスのエンジンをもっとふかす」などと、破たんした経済政策を前面に打ち出して参議院選挙をたたかうとしています。しかし、過去2回の国政選挙をふりかえれば、アベノミクスを争点にすえて多数の議席を得、結局安倍首相が実行したのは「秘密保護法」と「戦争法」の強行でした。3回目をくりかえさせるわけにはいきません。

「野党は共闘」という多くの市民の声と、日本共産党の候補者を取り下げるといふ思いきった対応で、全国の32の一人区で野党共闘が実現しました。この共闘は、「憲法違反の『安保法制』廃止、立憲主義を取り戻す」という大義の下大同団結した画期的なものです。

第二は、損保産業の未来が問われる選挙だということです。ニュースはまず、焦土のなかから産業の復興を目指した先輩たちの「平和であってこそその損保産業」という思いを受け継げるのかどうか問われる選挙だと述べています。また、安倍政権がすすめるようとしている諸政策が損保産業のありかたと密接に結びついていることを指摘し、それぞれの課題について、健全で国民に役立つ損保産業を目指す方針を明らかにしています。内容は次のとおりです。

- ① 損保は平和産業
- ② TPPと保険
- ③ 原発リスクと損保の社会的責任
- ④ 労働法制改悪と損保の労働時間制度

現在、損保各社社員は、熊本を中心とした地震保険の調査・支払に全力を尽くしています。事故受付件数は23万件以上に上っていますが、多くのみなさんの奮闘で、完了・支払はすでに90%を超えています。

この仕事に誇りや将来性を感じた若者が本当に未来に希望を持てる、そんな企業・産業にすることが、今こそ必要です。

日本の社会と損保産業の未来がかかった参議院選挙、一人ひとりが有権者としての権利を行使しましょう。



5・3総がかり行動にて

〈感想〉

特集号ニュースの戦争保険の記事は衝撃でした。損害率6265% 戦争法で新たに損保が利用される危険性がある今こそ、「損保は平和産業」を合言葉にしなきゃと思います。派遣やパートで働く仲間にも広く読んでほしいです。

三井住友に導入された「事業場外労働制」が労働基準法違反だということは知らない人が多いと思います。誇りをもって生き働ける社会と損保をつくるためにも選挙に行きましょう。

三井住友革新懇 小畑由紀子

今回の選挙で願うのは、子どもが大切にされ、青年たちが希望の持てる社会にということです。わが家の息子で言えば今、就活の真っ最中。ブラック企業だとか、オワハラだとかの言葉が当たり前のようには話されている世の中って何なんでしょう？ 息子のシャツにアイロンをかけながら、まともな会社に巡り会ってほしいと願うばかりです。そのためにも、私たち国民の願いに答える、まともな政治を呼びかけている候補者を選びたいと思います。

共栄革新懇 大西まゆみ

安倍自公政権は「戦争への道」を暴走しています。「戦争は人類最大の暴力」で多くの死傷者を生み、国民多数の生活を根底から破壊することは経験済です。国民世論を無視する政治と決別し「国民本位」の政治の実現に大きく踏み出す参議院選挙にしたいものです。そのために「野党の統一候補」の勝利と、国民要求を大切にす真の革新勢力の勝利のために奮闘する決意です。

日新火災革新懇 中川昇

安保法成立後に作成された「自由と平和のための京大有志の会」・あしたのための声明書を紹介します。

〔関西市民連合に寄せられた女優・吉永小百合さんの自筆のメッセージを紹介します〕

今、私達はしつこく考へて行動しなければいけない時です。

戦争をする国に居てはいけない。憲法9条を守り、武器は無く対話で平和な世界を作りたい。私は強くお思います。

初めて選挙権を持つ十代の若者がぜひ投票に、あはら達の思いを一票に託して下さい。

吉永小百合

わたしたちは、忘れない。人びとの声に耳をふさぎ、まともに答弁もせず法案を通した首相の厚顔。戦争に行きたくないと叫ぶ若者を「利己的」と罵った議員の無恥。強行採決も連休を過ぎれば忘れると言いつつ官房長官の傲慢。わたしたちは、忘れない。マスコミを懲らしめる、と恫喝した議員の思い上がり。権力に媚び、おもねるだけの報道人と言論人の醜さを。居眠りに耽る議員たちの弛緩。わたしたちは、忘れない。声を上げた若者たちの美しさを。街頭に立ったお年寄りたちの威厳。内部からの告発に踏み切った人びとの勇気を。わたしたちは、忘れない。戦争の体験者が学生のデモに加わっていた姿。路上で、職場で、田んぼで、プラカードを掲げた人びとの決意。聞き届けられない声を、それでも上げつづけてきた人びとの苦しく切ない歴史。きょうは、はじまりの日。憲法を貶めた法律を葬り去る作業のはじまり。賛成票を投じたツケを議員たちが苦々しく噛みしめる日々のはじまり。人の生命を軽んじ、人の尊厳を踏みにじる独裁政治の終わりののはじまり。自由と平和への願いをさらに深く、さらに広く共有するための、あらゆる試みのはじまり。わたしたちは、忘れない、あきらめない、屈しない。

〔熊本地震立会報告〕

日新火災革新懇・中尾芳治

5月3日(火)～8日(日)の連休、熊本に入り、地震保険の立会を行いました。主に立会を行ったのは益城町です。報道のとおり被害が甚大。4月14日の地震の際は大丈夫だったが16日の余震で大きな被害を被ったという方がたくさんおられました。余震の時は車にいたから助かったという方も。今年3月に自宅を新築したばかりの若いご夫婦のお宅へ。益城町では子どものいる家族が新築した場合は補助金が出ます。子育て施策の充実でいま人口が急激に増えているとのこと。それだけに今回の地震の影響が心配です。

その他、上益城郡惣領、阿蘇郡西原町などへ入りました。想像以上にきつい業務でしたが、「遠いところからありがとうございます」の一言に疲れも吹っ飛びました。

どこでも代理店さんのきめ細かなアドバイスが喜ばれています。地域のセーフティネットとしての代理店の役割が見事に発揮されていることを肌で感じた6日間でした。